

「今川了俊」の初演年月に就いて

近松門左衛門の作である「今川了俊」は、外題年鑑の明和版によると、寶永四年四月二十一日が初演になつてゐる。その後の諸家はこれをそのまゝには信じてゐないが、さて初演の年月を明かに知る資料が何もない。ところで、私が最近豊竹古靱太夫の所藏本の「今川了俊」を一見すると、終丁の終行に

貞享四年丁卯正月吉祥日

とある。そして表紙裏の奥付には、丁度別項「忠度」の初演年月を證明するために掲げたと、同じ奥付がある。即ち「我等かたり本」云々の本文があつて、

貞享三丙寅初冬吉辰 竹本義太夫

近松門左衛門作

とあること、「忠度」の奥付と寸分違はない。只版元の名が、「忠度」の場合は別項の如く

大阪堺筋 正本屋九兵衛版

とあり、「今川了俊」の方は、

京二條通 寺町西入町北側

山本九兵衛版

大阪高麗橋 堺筋かど出見世

と相違してゐる。これによつて想像すると、正本は貞享三年冬に既に出版準備し、越えて貞享四年春正月に手摺にかけたらうかと思ふが、明和の外題年鑑を再び檢すると、貞享四年の正月八日から「達磨の本地」が、竹本座にかゝつてゐる。が、この「今川了俊」はどうも、この貞享四年が初演らしく思はるゝがどうあらうか。他の確證の發見するまで、とにかく、こんな二つの年號のある義太夫正本のあることを報告しておく。(昭和五年一月)